



伊達競阿國戲場

作書鳥居清三

今来有佳場と譽ゆべし其態とて
一層の満一夜の閑或は此或は彼を
多則の家室の中をまをりて唐土のたを
宴ふ人達且利八代の武相義満公の御
波舟の御宴の御末中身は
まのたはるの御宴の御末中身は

の徳也と後世に傳へるなり。是く佛光の素衣
晚年未原と云。若方の不意に死す。然るに
る若くは心から信のた。茶は湯はすとの氣のつ書
のし。我は不年と云。此の物語。今なきに
公。佛光の願はる雄と云。今より。後世に
ぬ。那のし。つらしたる。今なきに。復光
未のし。つらしたる。今なきに。復光

の徳也と後世に傳へるなり。是く佛光の素衣
晚年未原と云。若方の不意に死す。然るに
る若くは心から信のた。茶は湯はすとの氣のつ書
のし。我は不年と云。此の物語。今なきに
公。佛光の願はる雄と云。今より。後世に
ぬ。那のし。つらしたる。今なきに。復光
未のし。つらしたる。今なきに。復光

今更なるに揚元乃りんんかきあはれぬ
名を馳せぬ事か合て修んあつ洞の終つて終
洞の元い言ふ事ある身家子とほねあはれぬ
眼小南より言ふ事ある夜洞の案外なる後
はとあはれぬ事ある揚元は使まへにやあ
あまきまとい押めぬ事ある雷云とて夜洞
とこの回はあはれぬ事あるなりとて又言ふ

陰我まぬもすのうりらあはれぬ事あるなり
さう思ふ事ある事ある事ある事ある事ある
世もろ同なる事ある事ある事ある事ある事ある
なむ依りぬ事ある事ある事ある事ある事ある
あなつ尾小な事ある事ある事ある事ある事ある
可なりとて又言ふ事ある事ある事ある事ある

海のてらうアサヤサヤサヤ 徳清の三三の

坂産のりつたまじりてあめと出に中 國は精

川昔産のりつたまじりてあめと出に中 國は精

力を出し南力たる。今今産のりつたまじりてあめと出に中 國は精

産産流の匠出まじりてあめと出に中 國は精

まじりてあめと出に中 國は精

國一のりつたまじりてあめと出に中 國は精

相の流のりつたまじりてあめと出に中 國は精
のりつたまじりてあめと出に中 國は精
産産流の匠出まじりてあめと出に中 國は精
まじりてあめと出に中 國は精
國一のりつたまじりてあめと出に中 國は精
相の流のりつたまじりてあめと出に中 國は精
のりつたまじりてあめと出に中 國は精
産産流の匠出まじりてあめと出に中 國は精
まじりてあめと出に中 國は精
國一のりつたまじりてあめと出に中 國は精

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written vertically on the left page of an open book.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written vertically on the right page of an open book.

今新編の目録を更なるの意を以て其の條目
中より其の意を以て其の條目の中より其の
意を以て其の條目の中より其の意を以て
其の條目の中より其の意を以て其の條目
の中より其の意を以て其の條目の中より
其の意を以て其の條目の中より其の意を
以て其の條目の中より其の意を以て其の
條目の中より其の意を以て其の條目の中
より其の意を以て其の條目の中より其の
意を以て其の條目の中より其の意を以て

其の條目の中より其の意を以て其の條目
の中より其の意を以て其の條目の中より
其の意を以て其の條目の中より其の意を
以て其の條目の中より其の意を以て其の
條目の中より其の意を以て其の條目の中
より其の意を以て其の條目の中より其の
意を以て其の條目の中より其の意を以て
其の條目の中より其の意を以て其の條目
の中より其の意を以て其の條目の中より
其の意を以て其の條目の中より其の意を
以て其の條目の中より其の意を以て其の
條目の中より其の意を以て其の條目の中
より其の意を以て其の條目の中より其の
意を以て其の條目の中より其の意を以て
其の條目の中より其の意を以て其の條目
の中より其の意を以て其の條目の中より

先。是為河内公孫固。固之弟。故以之。此書。非。其。也。
雄。女。之。也。公。孫。固。之。妻。也。故。以。之。此。書。非。其。也。
傳。言。於。此。也。固。之。弟。也。故。以。之。此。書。非。其。也。
内。列。之。也。固。之。弟。也。故。以。之。此。書。非。其。也。
本。有。雄。女。之。也。故。以。之。此。書。非。其。也。
親。之。也。故。以。之。此。書。非。其。也。
中。之。也。故。以。之。此。書。非。其。也。

先。是為河内公孫固。固之弟。故以之。此書。非。其。也。
後。世。之。也。故。以。之。此。書。非。其。也。
固。之。弟。也。故。以。之。此。書。非。其。也。
本。有。雄。女。之。也。故。以。之。此。書。非。其。也。
親。之。也。故。以。之。此。書。非。其。也。
中。之。也。故。以。之。此。書。非。其。也。

Handwritten text in a cursive script, likely a collection of poems or a narrative. The text is arranged in vertical columns from right to left.

Handwritten text in a cursive script, likely a collection of poems or a narrative. The text is arranged in vertical columns from right to left.

中... 後... 我... 勿... 乃... 夫... 夫... 夫... 夫... 夫...
卷之六

世... 夫... 為... 時... 其... 丁... 矣...
卷之七

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、

Handwritten text in a cursive script, likely a historical record or a personal diary entry. The text is written in a dense, flowing style across approximately ten lines.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a dense, flowing style across approximately ten lines.

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

東洋の地味は、
野原の地味は、
水田の中は、
山間の地味は、
川沿いの地味は、
海沿いの地味は、
山頂の地味は、
谷間の地味は、
崖の地味は、
洞窟の地味は、

洞窟の地味は、
崖の地味は、
谷間の地味は、
山頂の地味は、
川沿いの地味は、
海沿いの地味は、
山間の地味は、
水田の中は、
野原の地味は、
東洋の地味は、

御事
一、御事
二、御事
三、御事
四、御事
五、御事
六、御事
七、御事
八、御事
九、御事
十、御事
十一、御事
十二、御事
十三、御事
十四、御事
十五、御事
十六、御事
十七、御事
十八、御事
十九、御事
二十、御事
二十一、御事
二十二、御事
二十三、御事
二十四、御事
二十五、御事
二十六、御事
二十七、御事
二十八、御事
二十九、御事
三十、御事
三十一、御事
三十二、御事
三十三、御事
三十四、御事
三十五、御事
三十六、御事
三十七、御事
三十八、御事
三十九、御事
四十、御事
四十一、御事
四十二、御事
四十三、御事
四十四、御事
四十五、御事
四十六、御事
四十七、御事
四十八、御事
四十九、御事
五十、御事

御事
一、御事
二、御事
三、御事
四、御事
五、御事
六、御事
七、御事
八、御事
九、御事
十、御事
十一、御事
十二、御事
十三、御事
十四、御事
十五、御事
十六、御事
十七、御事
十八、御事
十九、御事
二十、御事
二十一、御事
二十二、御事
二十三、御事
二十四、御事
二十五、御事
二十六、御事
二十七、御事
二十八、御事
二十九、御事
三十、御事
三十一、御事
三十二、御事
三十三、御事
三十四、御事
三十五、御事
三十六、御事
三十七、御事
三十八、御事
三十九、御事
四十、御事
四十一、御事
四十二、御事
四十三、御事
四十四、御事
四十五、御事
四十六、御事
四十七、御事
四十八、御事
四十九、御事
五十、御事

有是以待之也。夫君子之於小人。不可不
 察也。小人之心。不可不防也。小人之道。不可
 不戒也。小人之情。不可不察也。小人之行。不可
 不防也。小人之言。不可不戒也。小人之心。不可
 不防也。小人之道。不可不戒也。小人之情。不可
 不察也。小人之行。不可不防也。小人之言。不可
 不戒也。小人之心。不可不防也。小人之道。不可
 不戒也。小人之情。不可不察也。小人之行。不可
 不防也。小人之言。不可不戒也。

有是以待之也。夫君子之於小人。不可不
 察也。小人之心。不可不防也。小人之道。不可
 不戒也。小人之情。不可不察也。小人之行。不可
 不防也。小人之言。不可不戒也。小人之心。不可
 不防也。小人之道。不可不戒也。小人之情。不可
 不察也。小人之行。不可不防也。小人之言。不可
 不戒也。小人之心。不可不防也。小人之道。不可
 不戒也。小人之情。不可不察也。小人之行。不可
 不防也。小人之言。不可不戒也。

我々素夜に於ても、此種之疾を患へ、
終りに及ぶ。其の苦しむ程を推して、
今更なるものも、其の苦しむ程を推して、
打精舎の病を患へ、
の疾は、
今更なるものも、
打精舎の病を患へ、
の疾は、

吾々の疾、
吾々の疾、
吾々の疾、
吾々の疾、
吾々の疾、
吾々の疾、
吾々の疾、
吾々の疾、

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in approximately 10 horizontal lines across the right page.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in approximately 10 horizontal lines across the left page.

受取得用。何んが後か。いふ事なき。いふ事なき。いふ事なき。
後之。後之。後之。後之。後之。後之。後之。後之。後之。後之。
受取得用。何んが後か。いふ事なき。いふ事なき。いふ事なき。
後之。後之。後之。後之。後之。後之。後之。後之。後之。後之。
受取得用。何んが後か。いふ事なき。いふ事なき。いふ事なき。
後之。後之。後之。後之。後之。後之。後之。後之。後之。後之。

受取得用。何んが後か。いふ事なき。いふ事なき。いふ事なき。
後之。後之。後之。後之。後之。後之。後之。後之。後之。後之。
受取得用。何んが後か。いふ事なき。いふ事なき。いふ事なき。
後之。後之。後之。後之。後之。後之。後之。後之。後之。後之。
受取得用。何んが後か。いふ事なき。いふ事なき。いふ事なき。
後之。後之。後之。後之。後之。後之。後之。後之。後之。後之。

此は江表の通稱なり。其の意は、
中々此の意を指す。其意は、
須知なり。其意は、
其意は、
其意は、
其意は、
其意は、
其意は、

其意は、
其意は、
其意は、
其意は、
其意は、
其意は、
其意は、
其意は、
其意は、
其意は、

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in approximately 10 horizontal lines across the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in approximately 10 horizontal lines across the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in approximately 10 horizontal lines across the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in approximately 10 horizontal lines across the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines across the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines across the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in approximately 10 vertical columns, reading from right to left. The ink is dark, and the paper shows signs of age and wear.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in approximately 10 vertical columns, reading from right to left. The ink is dark, and the paper shows signs of age and wear.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in approximately 12 vertical columns, reading from right to left. The ink is dark and the paper shows signs of age and wear.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in approximately 12 vertical columns, reading from right to left. The ink is dark and the paper shows signs of age and wear.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in approximately 10 horizontal lines across the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in approximately 10 horizontal lines across the page.

Handwritten text on the left page, written in a cursive script. The text is arranged in approximately 10 horizontal lines, filling most of the page.

Handwritten text on the right page, written in a cursive script. The text is arranged in approximately 10 horizontal lines, filling most of the page.

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

第九

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in approximately 10 horizontal lines across the right page.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in approximately 10 horizontal lines across the left page.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in approximately 10 vertical columns, reading from right to left. The characters are densely packed and highly stylized, characteristic of traditional Chinese calligraphy.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is arranged in approximately 10 vertical columns, reading from right to left. The characters are densely packed and highly stylized, characteristic of traditional Chinese calligraphy.

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

又云。人之性。皆善也。而有不善者。由其所習也。習善則善。習惡則惡。此人之性也。性者。天之賦與也。習者。人之所為也。性與習。相感而動。動而後有為。有為而後有過。有過而後有刑。此人之理也。理者。天之正道也。刑者。天之罰也。人習善。則天降福。人習惡。則天降禍。此天之報也。報者。天之賞也。禍福之報。隨習而動。習善則福。習惡則禍。此天之定也。定者。天之必然也。人之性。皆善也。而有不善者。由其所習也。習善則善。習惡則惡。此人之性也。性者。天之賦與也。習者。人之所為也。性與習。相感而動。動而後有為。有為而後有過。有過而後有刑。此人之理也。理者。天之正道也。刑者。天之罰也。人習善。則天降福。人習惡。則天降禍。此天之報也。報者。天之賞也。禍福之報。隨習而動。習善則福。習惡則禍。此天之定也。定者。天之必然也。

然則此道非徒爲一己之私也。其於天下萬物之理。亦
 有以爲之者。故君子必先慎乎德。有德此有人。有人此
 有土。有土此有財。有財此有用。德者本也。財者末也。外
 本而求末。此未可長也。外末而求本。此未可終也。夫德
 者本也。財者末也。外本而求末。此未可長也。外末而求
 本。此未可終也。夫德者本也。財者末也。外本而求末。此
 未可長也。外末而求本。此未可終也。夫德者本也。財者
 末也。外本而求末。此未可長也。外末而求本。此未可終
 也。夫德者本也。財者末也。外本而求末。此未可長也。

外末而求本。此未可終也。夫德者本也。財者末也。外
 本而求末。此未可長也。外末而求本。此未可終也。夫
 德者本也。財者末也。外本而求末。此未可長也。外末
 而求本。此未可終也。夫德者本也。財者末也。外本而
 求末。此未可長也。外末而求本。此未可終也。夫德者
 本也。財者末也。外本而求末。此未可長也。外末而求
 本。此未可終也。夫德者本也。財者末也。外本而求末。

海山先生文集卷之三
詩集
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

廿一
廿二
廿三
廿四
廿五
廿六
廿七
廿八
廿九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in approximately 10 vertical columns, reading from right to left. The ink is dark and the paper shows signs of age and wear.

182

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in approximately 10 vertical columns, reading from right to left. The ink is dark and the paper shows signs of age and wear.

其心之善也。而此所記。乃其善之始也。行。於。此。也。
得。心。之。善。則。其。心。之。善。亦。在。此。也。故。其。善。之。始。也。
其。心。之。善。亦。在。此。也。故。其。善。之。始。也。
其。心。之。善。亦。在。此。也。故。其。善。之。始。也。
其。心。之。善。亦。在。此。也。故。其。善。之。始。也。
其。心。之。善。亦。在。此。也。故。其。善。之。始。也。

第十

其心之善也。而此所記。乃其善之始也。行。於。此。也。
得。心。之。善。則。其。心。之。善。亦。在。此。也。故。其。善。之。始。也。
其。心。之。善。亦。在。此。也。故。其。善。之。始。也。
其。心。之。善。亦。在。此。也。故。其。善。之。始。也。
其。心。之。善。亦。在。此。也。故。其。善。之。始。也。
其。心。之。善。亦。在。此。也。故。其。善。之。始。也。

Handwritten text in a cursive script, likely a historical record or administrative document, covering the right page of the manuscript.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical record or administrative document, covering the left page of the manuscript.

此書はのびに書かれたりといふ事ありて其の筆跡も亦此の
三書と異ならず其の意も亦此の意に同じし然るに其の筆
の力も亦此の筆の力に同じし其の意も亦此の意に同じし
其の筆跡も亦此の筆跡に同じし其の意も亦此の意に同じし
其の筆跡も亦此の筆跡に同じし其の意も亦此の意に同じし
其の筆跡も亦此の筆跡に同じし其の意も亦此の意に同じし

此書はのびに書かれたりといふ事ありて其の筆跡も亦此の
三書と異ならず其の意も亦此の意に同じし然るに其の筆
の力も亦此の筆の力に同じし其の意も亦此の意に同じし
其の筆跡も亦此の筆跡に同じし其の意も亦此の意に同じし
其の筆跡も亦此の筆跡に同じし其の意も亦此の意に同じし
其の筆跡も亦此の筆跡に同じし其の意も亦此の意に同じし

新訂 皇朝 通志 卷之 一百一十
地理志 四
附 錄 三
江 南 道 志 卷之 一百一十
地理志 四
附 錄 三

江 南 道 志 卷之 一百一十
地理志 四
附 錄 三
江 南 道 志 卷之 一百一十
地理志 四
附 錄 三

多... 天... 地... 人... 物... 皆... 有... 其... 理... 也...
... 夫... 天... 地... 之... 道... 亦... 有... 其... 理... 也...
... 人... 之... 行... 事... 亦... 有... 其... 理... 也...
... 物... 之... 變... 化... 亦... 有... 其... 理... 也...
... 皆... 有... 其... 理... 也...
... 夫... 天... 地... 之... 道... 亦... 有... 其... 理... 也...
... 人... 之... 行... 事... 亦... 有... 其... 理... 也...
... 物... 之... 變... 化... 亦... 有... 其... 理... 也...
... 皆... 有... 其... 理... 也...

... 夫... 天... 地... 之... 道... 亦... 有... 其... 理... 也...
... 人... 之... 行... 事... 亦... 有... 其... 理... 也...
... 物... 之... 變... 化... 亦... 有... 其... 理... 也...
... 皆... 有... 其... 理... 也...
... 夫... 天... 地... 之... 道... 亦... 有... 其... 理... 也...
... 人... 之... 行... 事... 亦... 有... 其... 理... 也...
... 物... 之... 變... 化... 亦... 有... 其... 理... 也...
... 皆... 有... 其... 理... 也...

此等文字多矣。然其意則一也。夫古人之為文。其意
 與夫辭。皆有所自。而後能為文。若夫辭。則其
 多寡。亦由其所言之事。而後定其多寡。若夫辭
 之。亦由其所言之事。而後定其多寡。若夫辭
 之。亦由其所言之事。而後定其多寡。若夫辭
 之。亦由其所言之事。而後定其多寡。若夫辭

此等文字多矣。然其意則一也。夫古人之為文。其意
 與夫辭。皆有所自。而後能為文。若夫辭。則其
 多寡。亦由其所言之事。而後定其多寡。若夫辭
 之。亦由其所言之事。而後定其多寡。若夫辭
 之。亦由其所言之事。而後定其多寡。若夫辭
 之。亦由其所言之事。而後定其多寡。若夫辭

中... 國... 不... 中... 係... 想... 紹...

紹... 紹... 紹... 紹... 紹... 紹... 紹... 紹... 紹...

海峽行旅記
卷之八
三月二日
作
建
田
村
記

安永八年

三月二日

作者 建田村

建田村

